

歸り晝食後午後一時より左記講演ありたり來會者二十一名
南北兩米に於ける人種の分布並に人口密度の歴史的及地理

的考察

女子師範 北田茂君

○第十四回例會 五月二日午前九時より岡山縣立商業學校に於て開會左記講演ありたり

一、都市成立の一考察

春嶺高女

小館軍三君

二、滿鮮視察旅行談

西大寺高女

岡本信太郎君

三、地理學研究の必要と希望、縣商校長

野田一君

以上終はりて晝食をなし雜談に時を移し午後二時より内山下初平に至り珍果物の研究をなす來會者三十四名なりき

○第十五回例會 五月三十日午前九時より縣立商業に於て開會左記の講演ありたり

一、民族地理學の新提唱、春嶺高女

小館軍三君

右終はりて六高に於ける生物展覽會を參觀し尙後樂園に於ける東宮殿下の御座所並に台覽品等の拜觀をなして散會、來會者二十二名

○第十六回例會 七月四日午前九時より縣立商業に開會左記講演ありたり

一、印度事情

縣商

香山一男君

二、京都近郊の名勝古跡につき

關中

原田直君

午後市内の見學を廢し専ら質疑問答其他新刊圖書の紹介等ありて午後三時散會せり來會者十八名

○茶話會 八月六、七、八の三日間岡山縣主催の地理講習會開催せられ講師として内田寛一先生來岡せられしを以て七日

雜錄、質疑應答

午後一時より借樂園食堂に内田先生を聘して茶話會を開く當日暑氣殊に甚しかりしも會員の來會せしもの三十五名ありたり先づ浦上幹事の挨拶について各會員殊に文檢受験者中内田先生の突撃を蒙りし人々より火蓋は切つて落され懷舊談より將來の問題現在の問題引き切りなしに起り歡談わくが如く午後四時を報ぜしにより話は盡きざるも先生の御疲勞を察して四時半開散せり

○第十七回例會 九月二十六日午前九時より縣立商業に開會左記講演ありたり、來會者二十七名

一、臺灣旅行談

關中

水野千里君

二、津山に於ける地質研究報告

縣商

浦上宗衛君

三、文檢受験準備と參考書に就いて

會員相互問

質疑應答

問 スラブ民族の分類と分布(文檢)

答 土俗學的に言語學的にスラブといへば、歐洲白色人種の中で尤も人口が多い種類で凡そ一億四千萬人と稱せられる、歐洲以外にもシベリア西部の農地から、シベリア鐵道に沿ふて、太平洋岸に侵出し、別にアメリカへ移住した多くのスラブがあるが、何といつても其本國は歐洲東部である
地理學的に之を三大別する東スラブ、北西スラブ、及南方スラブこれである。
東スラブといへば云ふ迄もなくロシア人一億三千万で東經

二十七度からウラル山地までの歐露に分布し、其中にフィン及タ、ールの極めて少い異分子を除けば、全部スラブである。これに大ロシア、小ロシア、白ロシアの三支別がある。大ロシアはフィンのエレメントを吸収し、小ロシアはトルコ人の影響をうけ、白ロシアはリトアニアンの血液をうけてゐるといはれる程に言語は各々少しづゝちがつてゐる。大ロシアはモスコを中心にして東に擴り、小ロシアはキエフを中心に西にのびる、白ロシアは中間に居つて地方的區域がない、さてこの西のステツアに住む小ロシア人は、すつとカルパシアン山地に入り、國を越えるに獨逸の方ではルテナアンと呼ばれポーランド人とマキヤール人の間に契形に割り込み東經二十度にまで分布してゐる。

北西スラブといへば、其主なものはポーランド人とチェツコスロバキア人である、前者はヴィスチユラの盆地に二千七百万人一國を建て居り、後者はホヘミア、モラヴィア、及シレシアに住む約六百万人のチェツヒ族と、スロバキアのソロバーク人二百万人である、一九一九年以後致強國となつた。こゝは人の知る通である、この北西スラブの外にガントヒの北西にカシエフ族(二十萬人)又はソルブ族即 *Wends* の如く獨逸國內に入つてゐるスラブも多い、これらのスラブは中央獨逸でチユートン化し、一時は北はリユエゲンホルスタインに及び南はザール川に迄分布した歴史がある、この獨逸國內のスラブを總稱して、ボラーブ又はスラブソシエルベといふ、蓋しエルベ川の周圍に居るからである。

南スラブといふは、スロベニア人、セルボクロアイト人、及ブルガリアンなどで奥地利に住む獨逸人及マキヤール及ルーマニア人のために、互に北方から離されてゐる、但しこの

日耳曼もマキヤールも實際はスラブとの混血が多い、してゐる。南スラブは實にバルカン半島に分布してゐるといふべくシユリアンアルプス及ムール川、ドレーブ川がニユープ川に沿ふて分布し、北は匈牙利と接し南の方の限界はシクザクで明でないが、南西はアルパニアン人、南東はトルコ人南はギリシア人に接する。

半島の主要なスラブは東半部のブルガリア人五百萬及西部のセルボクロアイト人が八百萬である。大戦後民族自決でこのスラブの分布に従つて、巴爾幹の國境が定まつたと見てよい。ホスニアンとセルブ人は正統スラブであるが、其言語の中に回教語が混入し、ローマンカトリクであるクロアイト人はラテン文字を用ひ、ダルマチアンは同じくローマ教徒であるけれども、文字は古いスラブ字であるグラゴリチツク字を用ひるから言語も自から三種の方言になる。

半島の北西端、スチリア、カリンシアの南のカルニオラにはイタリヤ境へかけてスロヴエニア人が百五十萬人も住んでゐる、南のマセドニアにもスラブがある。以上は廣いスラブ人の大體の分布である、主として言語學上の分類から出發してゐるから左に之を表示しておく。

一、東スラブ ロシア語史に大ロシア小ロシア白ロシアの

三別あり。

リトワニア語、レット語、古代プロシア語をふくめてレットスラブ語ともいふ。

二、南スラブ

ブルガリア語、マケドニア方言、セルヴィア語、クロアチア語、スロヴァニア語

三、北西スラブ

チェヒ語、モラヴィア語、スロヴァキア語、ソルブ語、ポーランド語、ボラビア語(藤田)